

政策委員会の活動状況

平成 13 年 8 月 28 日

前回の本部会合（平成 13 年 1 月 30 日）以降、これまでの政策委員会の活動状況は、以下の通りである。

1. 地震に関する基盤的調査観測計画の見直しと重点的な調査観測体制の整備について

調査観測計画部会（部会長：長谷川・東北大学大学院教授）では、地震に関する基盤的調査観測計画（平成 9 年本部決定）の見直しと重点的な調査観測体制の整備についての検討を行い、8 月に報告を取りまとめた。政策委員会においても検討を行い、本部会議に報告することとなった。

また、地震関係データの流通については、調査観測計画部会の下に設置されている調査観測結果流通ワーキンググループ（主査：本蔵・東京工業大学大学院教授）により、検討を進めているところである。

2. 平成 14 年度地震調査研究予算概算要求について

予算小委員会（主査：萩原・日本大学客員教授）では、関係省庁からヒアリング等を実施し、地震に関する調査研究予算等の事務の調整を行った。政策委員会は、予算小委員会の報告に基づき検討を行い、本部会議に報告することとなった。

3. 成果を社会に活かす部会報告

成果を社会に活かす部会（部会長：廣井・東京大学社会情報研究所長）は、地震調査委員会が公表する活断層の長期評価を社会に活かしていくため、その方策の検討を行ってきた。また、文部科学省は、防災専門家等を対象としてアンケート調査を実施した。部会においては、その結果を踏まえ、さらに検討を進め、8 月に報告を取りまとめた（参考 14 - (1) 参照）。

最近の開催状況

政策委員会（委員長：伊藤早稲田大学教授）

年月日	通算回数
平成 13 年 1 月 23 日	第 18 回
8 月 22 日	第 19 回

予算小委員会（主査：萩原日本大学客員教授）

年月日	通算回数
平成 13 年 4 月 19 日	第 19 回
6 月 29 日	第 20 回
8 月 6 日	第 21 回
8 月 21 日	第 22 回

調査観測計画部会

（部会長：長谷川東北大学大学院教授）

年月日	通算回数
平成 12 年 10 月 17 日	第 23 回
平成 13 年 1 月 17 日	第 24 回
3 月 9 日	第 25 回
3 月 29 日	第 26 回
5 月 17 日	第 27 回
6 月 25 日	第 28 回
8 月 8 日	第 29 回

調査観測計画部会重点的観測計画検討会[#]
（主査：長谷川東北大学大学院教授）

年月日	通算回数
平成 13 年 3 月 12 日	第 1 回
3 月 30 日	第 2 回
4 月 17 日	第 3 回

重点的な観測体制を整備するための
地震調査委員会との意見交換会[#]

年月日	通算回数
平成 13 年 5 月 8 日	第 1 回

調査観測計画部会

調査観測結果流通ワーキンググループ
（主査：本蔵東京工業大学大学院教授）

年月日	通算回数
平成 13 年 2 月 27 日	第 16 回
7 月 16 日	第 17 回

成果を社会に活かす部会

（部会長：廣井東京大学社会情報研究所長）

年月日	通算回数
平成 13 年 4 月 24 日	第 6 回
6 月 11 日	第 7 回

注 1) 12 回本部会議（平成 12 年 8 月 29 日）以降を集計

[#]注 2) 政策委員会委員長が必要により招集した検討会等